

第46回戦跡ハイキング 旧真田山陸軍墓地を訪れる

環状線玉造駅近くにある旧真田山陸軍墓地に講演会と見学に行ってきました。今回は旧真田山陸軍墓地の研究で知られ、その保存を考える会の理事長の小田康徳氏（大阪電気通信大学名誉教授）に講演と墓地案内をお願いしました。小田氏の講演は約90分の講演で、とても分かりやすく、明治時代の陸軍創設期以来の歴史と墓地をめぐる話題や諸問題などを知ることができました。広大な敷地も軍役夫や外国人俘虜の墓碑などについて案内していただき、私たちも戦争遺跡の一つとしてその姿や歴史的意義についても学習していかなければと思いました。この陸軍墓地の調査や保存のあり方などの課題も山積しているようです。見学のあと玉造駅前の居酒屋にて、有志で小田先生やお世話をいただいた岡田祥子さん、吉岡武さんを囲んで交流会をもちました。参加者は総勢20名と有意義な戦跡ハイクの日でした。

コース：玉造駅→旧陸軍墓地集会所（小田氏の講演）→墓地案内、資料展示室→玉造駅前「大枡」で交流会

参加者：豊中4、八尾4、ひまやま3、きたろう2、こもれび2、泉州2、吹田2、一般1 計20名



集会所で小田先生の講演



日清戦争での清国軍俘虜の墓碑も

戦跡ハイクに参加して

笠井ふみ子（八尾山の会）…2月9日（土）、戦跡ハイキングで旧真田山陸軍墓地を歩いて来ました。墓地の中に有る集会所で約90分の講演を聞き、終了後3班に分かれて講師の説明を聞きながら回りました。ここは日本最大・最古の陸軍墓地で、日本で最初に設置された墓地遺跡だと知りました。納骨堂には8000の遺骨、墓地には墓碑が5299柱あります。生兵の墓も沢山あり、墓によっては文言が刻まれているので、じっくり読んだら面白い。桂文枝のお父さんのお墓も発見。壮大な場所に整然と並んだ墓碑に圧倒されたのと、崩れそうな墓碑も数知れずありますが、花も無く胸が苦しくなりました。案内の方に聞くと毎年8/14、15の夕方から夜にかけて保存会やボランティアの方々が花とろうそくを手向けるとのこと。想像しただけでも神秘的な空間だと思うので、私は今年参加しようと思っています。2年前にもほぼ同じコースを歩きましたが今回は事前に説明をじっくり聞いてから回ったので、前回と感じ方が違い改めて平和の尊さを感じる半日でした。

服部功（ひまやま）…旧真田山陸軍墓地の巡検に参加しました。三光神社左脇の石段を上がりきった公園からおびたしい数の墓石がびっしりと並んでいるのが見えました。褐色に変色した表面が剥がれ落ち、亀裂が入るなど傷も激しく、墓石保存の大切さを痛感しました。お盆には墓参に訪れたいものです。